

令和7年度

保育士自己評価

《職員に対して》

A…できている B…大体できている C…まだ努力が必要

		A	B	C
1	明るい笑顔で挨拶をしていますか	17	7	0
2	お互いに良さを認め合い高め合える努力をしていますか	6	16	2
3	同僚や上司、園の批判を軽はずみにしていませんか	17	7	0
4	クラスの様子や出来事を報告していますか	11	12	1
5	自分で判断できないことは、園長・主任に相談していますか	18	6	0
6	自分の意見がある場合は、職員会議などで述べていますか	6	14	4
7	自分の考え、やり方が違っていても、会議で決まったことには従っていますか	17	7	0
8	お互いの不得意な所を補い合っていますか	9	13	2
9	保育について、良い所、悪い所が指摘し合える関係を作っていますか	7	13	4
10	自分の分担以外のことも関係ないと思わずに、協力しあえますか	12	9	3
11	社会人としての常識を持ち、専門職として責任ある行動をとっていますか	13	9	2

《職員に対しての個別評価》

- ・ 職員との連携、信頼関係を築いていく
- ・ 職員間で情報を共有できるように話し合いの時間を設ける
- ・ 職員が自分の意見を素直に述べられるような環境に整える
- ・ 職員の困りごとに気付けるようにコミュニケーションをとっていく
- ・ 職員同士が明るく挨拶をしより良い関係性をつくる
- ・ 職員間で不得意な所を補ったりフォローしていく
- ・ 職員の良いところを認め合ったり、悪いところを話し合える雰囲気づくりをする
- ・ 周りをよく見て気付きを共有する
- ・ 会議等自分の意見が述べられるように準備しておく

《心の健康管理》

*当てはまるものに○を付けて下さい

1	最近、意欲ややる気がわからない	1
2	イライラして怒りっぽくなることが多い	0
3	集中力がなくなりミスが増えている	1
4	人と話すのがおっくうである	1
5	保護者と話すのが怖い	0
6	園児を可愛いと思えない	0
7	職場の付き合いが面倒だ	1
8	朝、出勤するのが気重である	3

《保護者に対して》

A…できている B…大体できている C…まだ努力が必要

		A	B	C
1	明るい笑顔で挨拶をしていますか	18	5	1
2	どの保護者に対しても、平等に対応していますか	15	8	1
3	守秘義務を守っていますか	23	0	1
4	言葉遣いに気を付け、誠意を持って接していますか	12	10	2
5	その日の子どもの姿を、丁寧に伝えるように努めていますか	4	14	6
6	相手の立場になり、話を聞き、気持ちを受け止めていますか	9	12	3
7	親身なアドバイスができていますか	3	13	8
8	園の方針・保育内容・集団での決まり事をきちんと伝えていきますか	10	8	6
9	意見や要求（苦情）を聞こうとする姿勢をとっていますか	14	8	2

《保護者に対しての個別評価》

- ・ 大切なお子さんを預かっているという意識を常にもち相手の立場になって対応する
- ・ 笑顔で丁寧な対応を心がけ、信頼関係が築けるようにしていく
- ・ 不安や悩みのある保護者に親身にアドバイスができるように知識を身につける
- ・ 保護者の方が安心して気軽に声をかけられるようにすることが大切
- ・ 保護者の力になれるように保育者としての知識を深める
- ・ 園の方針やルールを理解してもらうために、自分自身も理解を深める
- ・ 園での様子を伝えながら、家での様子を確認し保育につなげられるようにする
- ・ 保護者が話したいと思えるような雰囲気を作り積極的に関わっていく

《子どもに対して》

A…できている B…大体できている C…まだ努力が必要

		A	B	C
1	登降園時、元気な挨拶をしていますか	21	3	0
2	すべての子どもを褒めていますか	12	11	1
3	子ども一人ひとりに、穏やかに話をしていますか	12	10	2
4	真剣に向き合い、良い悪いをきちんと教えていますか	7	16	1
5	その子に合った適切な援助をしていますか	2	17	5
6	子どもの目の高さになり、子どもと関わっていますか	9	15	0
7	正しい言葉遣いをしていますか	4	16	4
8	子ども達を呼び捨てにしていませんか	4	12	8

《子どもに対しての個別評価》

- 呼び捨てを直す
- 振り返りをしてよりよい保育に改善する
- 良い悪いの区別を優しいことばで伝えていく
- 個々の気持ちを大切に関わりを持つ
- 出来ていないことを改善して取り組む
- 穏やかな気持ちで受け止め、出来たときは褒めたり肯定的な声掛けをする
- 一人ひとりに合った対応の仕方を把握しよりよい環境で保育する
- 子どもたちの鏡であることを常に意識し行動を見つめなおす。
- 手遊びなど保育の引き出しをたくさん持てるように勉強する
- ゆったりとした気持ちで関わる
- 子どものペースを大切に寄り添った保育を心がける
- 子どもの目の高さになりどの子も平等に接する
- 気持ちを受けとめながら関わる
- 適切な対応ができるようにする

《安全に対して》

A…できている B…大体できている C…まだ努力が必要

		A	B	C
1	誰がどこでどのように遊んでいるかを把握していますか	4	14	2
2	人数のチェックを定期的に行っていますか	7	12	1
3	子ども達の動線を予測した保育の位置になっていますか	3	16	1
4	保育者の補助を必要とする固定遊具には保育者が付き添っていますか	8	11	1
5	子ども達に遊具の安全な使い方を知らせたり、遊びの中で気付いたり、判断できるような働きかけをしていますか	10	9	1
6	ひもの付いた服装やカバンを掛けたまま、すべり台で遊ばないように指導していますか	17	3	0
7	使用中の鉄棒に近づくと危険な事を教えていますか	18	2	0
8	子ども一人ひとりの心情、興味や関心、能力に応じた指導が行われていますか	3	14	3

《安全に対しての個別評価》

- 他の保育士が見てくれているだろうという気持ちではなく、声を掛け合い協力して安全を守っていく
- 誰がどこで遊んでいるか職員間で、子どもたちの動きを把握することが必要である
- 子どもの動きをよく観察し安全に意識を向けた保育をする
- 正しい遊具の使い方ができるように声をかけていく
- 保育者の連携が大切である。みんなで声を掛け合い安全を守っていく
- 人数確認をしっかりと行う
- 危険な場所や危険なことを伝えていく
- 全体的に見直し改善していく
- 子どもたちから目を離さず、動きを把握できるよう意識した保育をする